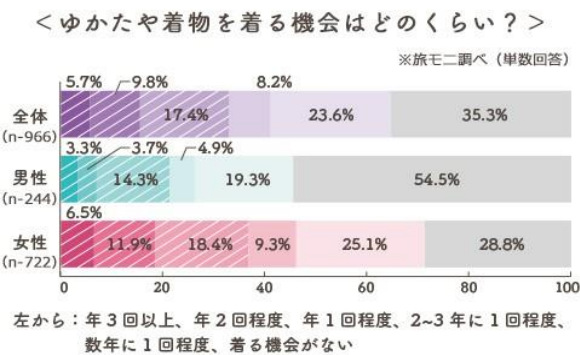


がんばれ！民族衣装！

宮城県仙台第三高等学校
G9班

1. 序論

右のグラフからわかるように近年、日本の伝統衣装を着る機会が減っている。この減少傾向の原因を調査し、現代でも着用しやすい着物の形態を考えることを目的とする。



2. 調査内容

○民族衣装が日常的に着られていない原因

～着物～

- 日本固有の服装であり、一つの民族衣装とも言える。日常的に着られなくなって原因としては、
- ・着物一式そろえるのに数十万円はかかってしまう
 - ・着るのにかなりの時間がかかってしまう
 - ・日常的に着るのに動きにくい

	着るのにかかる時間
着物	約1時間～2時間
洋服	約5分～10分

着物は着る時間が一般的な洋服に比べて、かなりの時間がかかってしまうことがわかります。多くの人が着物を着るのに抵抗感があるのはこれが原因でしょう。

○世界の民族衣装と継承方法

～チャイナドレス～

中国の民族衣装
現在はイベントやパーティー、ウェディングの際に着られている。

～ハンボク～

韓国の民族衣装
現在はイベントはもちろん、普段着として着ても違和感のないようなデザインや活動性を考えて服の大きさを小さくしている。

○世界的に有名な服装から見るメリット

～スーツ・ワイシャツ～

民族衣装ではないがイギリス発祥の服。現在では世界中に広がり、様々な場面で着用されている。ここまで世界的に着用されるようになったのは、どんな場面においても着用することができることや、着るだけで周りから常識があると思われるから。

また、ワイシャツについては半袖のものや長袖のもの、吸水性の優れた素材や清涼感のある素材があり、様々なニーズに応えることができる。

○現在でも着られている民族衣装

～サリー～

ヒンドゥー教の教えで足を出すことはできないためにこの衣装を着ている人が多い。

～ブルカ～

イスラム教では女性の美しい部分を隠すように求められているため全身を覆う様なブルカがイスラム教を信仰する国の女性たちの間で着られている。

しかし…女性の抑圧の象徴だとして

ブルカ禁止法

inフランス

4. まとめ・結論

今日世界ではグローバル化が進められている。国や人種の違う人々が文化の共有をしたことによって文化の統合がなされ、各国のアイデンティティは消滅しつつある。

日本を例にして考えてきたが、私たち一人一人ができることはあるだろうか

日本人は着物を着る意味を理解していない。着物を着ることで、自分の気持ちや敬意を表していることを知るべきだと思う。そのために、着やすいように着物を改良することも視野に入れていくことも大切だと思う。

3. 結果・考察

世界的に広がったスーツは、半袖や長袖、素材のバリエーションなど様々なニーズに応えることができる。つまり、スーツのような服装はどんな国でも、どんな人にも受け入れられることがわかった。

民族衣装に関しては、イベントやパーティー、儀式のときに着用し、着ることによって自分の気持ちや敬意を表している。

しかし、着物が着られる機会はイベントやパーティーなどでも減っている。

着物が日常的に着られるようになるには、コストがかかることや着るのに時間がかかること、動きにくいことなどの問題を解決する必要がある。この問題を解決するためには、韓国の民族衣装のハンボクや、世界的に普及したスーツのように様々なニーズに応えることのできる着物を作ればよいのではないかと。つまり、着物を様々な大きさや様々な素材で作ることによってバリエーションを増やす。

(例えば)

- ・裾の長さを短くする
- ・着脱しやすいように、ファスナーを使う
- ・吸水性や通気性、伸縮性の高い素材を使う
- ・帯を結んである状態にする

上に挙げた例のように、様々な工夫によってより多くの人のニーズに応えることのできる着物を作ることができる。

しかし、民族衣装の問題点はこれだけではない。

フランスのブルカ禁止法のように、衣服の自由を制限されている人々もいる。このような法律は、民族衣装が消滅する原因の一つになっている。様々な文化・伝統がある中で、それらを理解し合わなければ、この先も民族衣装は消滅し続けてしまうだろう。

人々が互いの文化の違いを理解して、認め合うことが必要不可欠なのではないだろうか。

参考文献

浴衣・着物のグラフ：<https://tabi-moni.com>

チャイナドレス：<https://www.mode21.com/q9283086/>

ハンボク：<https://korean-channel.com/hanbok-design-newhanbok> スーツ

スーツ：http://www.oldhat-jpn.com/suit_hist.htm